



# 金中だより

令和2年7月29日  
横浜市立金沢中学校

## 学校再開！ ～新たな生活様式に向けて～

校長 村上 博史

7月に入り、日々の活動の中に、放課後の部活動が再開され、また1年生の仮入部も7/6(月)から始まりました。少しずつ以前までの日常と同様の生活に近づいてきているようにも感じますが、新型コロナウイルス感染症の影響がなくなったわけではありません。今までの日常とは違う生活様式を誰もが模索しているところです。

新型コロナウイルス感染症という出来事によって世界中のすべての国や地域に住む人々が今までの生活とは違う行動が必要とされています。世界中でワクチン開発が急がれていますが、まずは自分たちでできる対策をひとり一人がしていくこと。私たちは先人たちが、さまざまな災害や環境の変化に対応し、そして社会に適応してきて来た歴史を学んでいます。

金沢中学校の校歌にある「不屈不撓の身と心・・・」そして体育館前に卒業生が寄贈してくれた「想創」の像に秘められた想いをみなさんと共に共有し、誰もが、これからの未知の世界に、新たな生活様式を実践することによって今までとは違う新たな日常を創っていきましょう。

## 新入生歓迎行事

6月25日(木)、例年の長縄大会に替えて、テレビ放映で「新入生歓迎行事」が行われました。3年生徒会本部役員から歓迎の言葉、新入生代表から入学の決意等が述べられました。そして、歓迎の気持ちを込めて、お花のリースがプレゼントされました。その後のサプライズ企画(2・3年生の学級委員が1年の縦割り学級の教室に、お花のリースを届けに出向いた)の様子について、2年生徒会本部役員の報告をご紹介します。

テレビ放映後、2・3年生の学級委員が自分たちの教室に来ることを知らなかった1年生はびっくりしていました。サプライズ企画が成功して嬉しかったです。初め1年生は緊張していましたが、2・3年の学級委員の話で笑いが起きて、盛り上がっていました。

金沢中学校のスキー教室などの行事や部活動のことなどを説明してくれた学級委員もいて、新しい学校生活に不安があった1年生も、安心して中学校生活を楽しんでくれると思いました。

また、お花のリースを渡したときには大きな拍手が起こり、プレゼントを喜んでくれていました。例年と同じように長縄大会を通じて交流できなかったのは残念ですが、1年生に少しでも金沢中を知ってもらい、不安を小さくできたなら良かったと思います。

## 生徒総会727・・・「協力・笑顔」

7月27日(月)6時限目にテレビ放送で生徒総会を行いました。本部役員・各専門委員会委員長が画面を通じて説明している姿を教室でみんなが視聴し、しっかりとした態度で臨んでくれました。事前に質問を得ることで、各専門委員会でも丁寧に回答していました。

さまざまな行事や活動が新型コロナウイルス感染症のため、制限がかかっている中、どんな対策をしたらどれだけの活動ができるのか誰も答えをもてないでいる。先が見えない、先が読めないということが私たちの心に不安を増長させていく。だからこそ、私たちが一步を踏み出していくために今回の生徒総会も中止するのではなく、できる方法を考えて実施してくれました。金中生徒みんなの想いがひとつの形を創ってくれたと感ずることができました。

## 部活動・・・一歩ずつ！

当初8月末まで対外試合等について見送りの方針がでていましたが、8月1日より同一区内等近隣校との交流が可能になりました。当然新型コロナウイルス感染症や熱中症の対策をすることが条件ですが、「3年生の節目の場」として何かできることを市中体連や区中体連そして各部の顧問の先生方が考えてくれています。

運動部・文化部それぞれ活動の中でできることを工夫していきたいですね。そのためにまずは自分の健康を自分で意識して守っていく。そのための行動を心がけていきましょう。



部活動再開・・・練習できる喜び！

